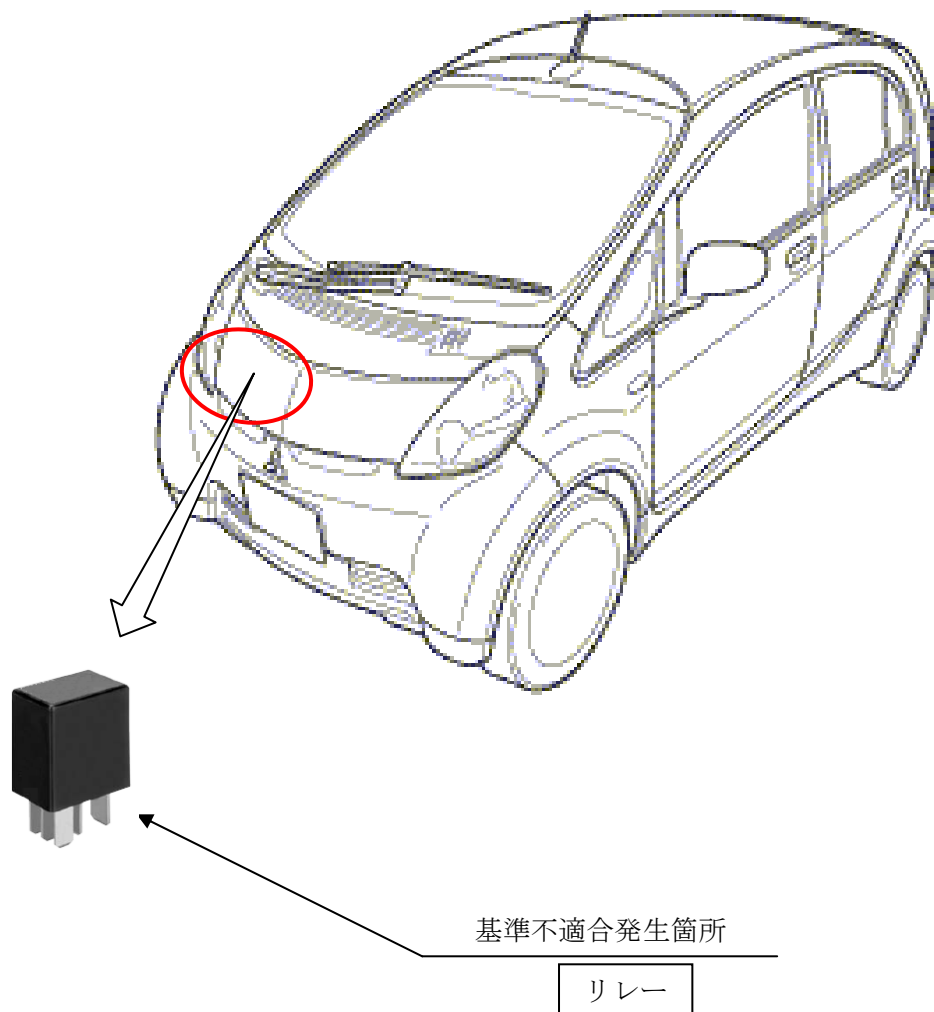


改善箇所説明図 ①



ブレーキ倍力装置に負圧を供給するブレーキ負圧電動ポンプの制御用リレーのカシメ管理が不適切なため、リレー接点がオンの状態で固着する場合があります。そのため、ブレーキ警告灯が点灯するとともに警告音が鳴り、ブレーキ負圧電動ポンプが停止し、そのままの状態で使用すると制動距離が長くなるおそれがある。

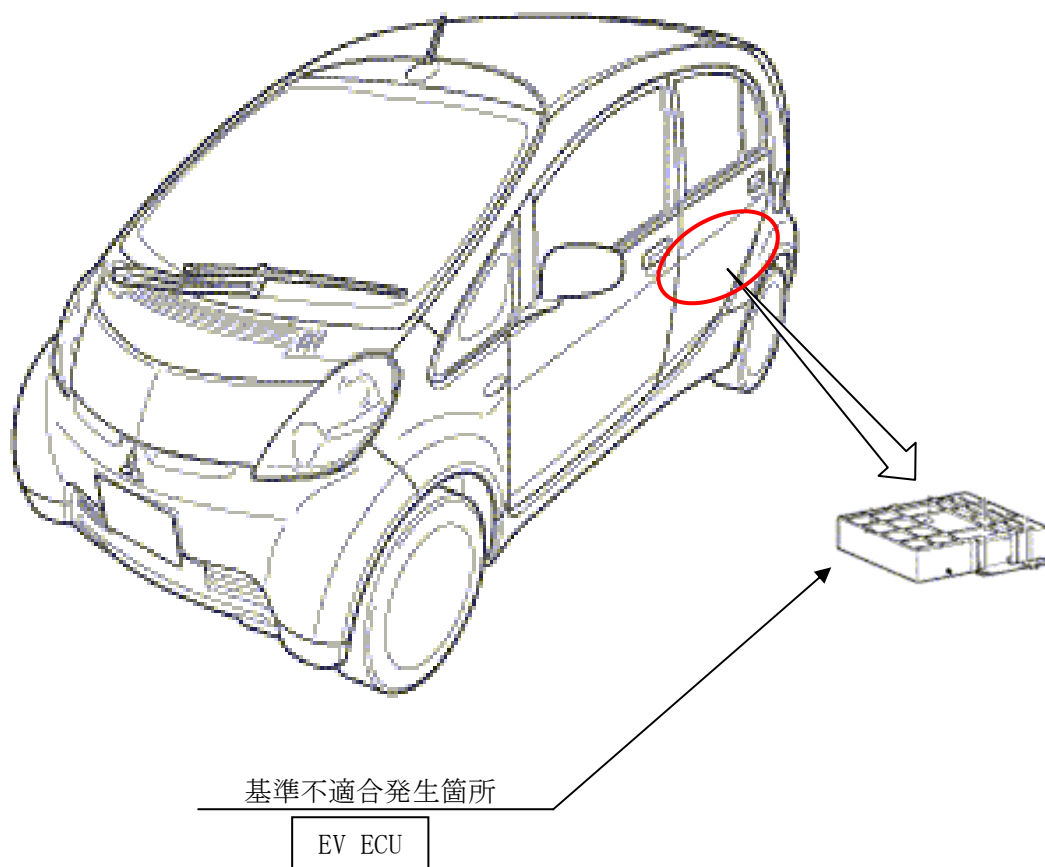
改善の内容

全車両、該当のリレーを対策品に交換する。

注：図中の 内は、交換する部品を示す。

識別：アクセルペダルアームの上面に白または黄色ペイントを塗布する。

改善箇所説明図②



ブレーキ倍力装置に負圧を供給するブレーキ負圧電動ポンプを制御するEV ECUの制御プログラムが不適切なため、リレー接点が固着したと誤判定する場合がある。そのため、ブレーキ警告灯が点灯するとともに警告音が鳴り、ブレーキ負圧電動ポンプが停止し、そのままの状態で使用すると制動距離が長くなるおそれがある。

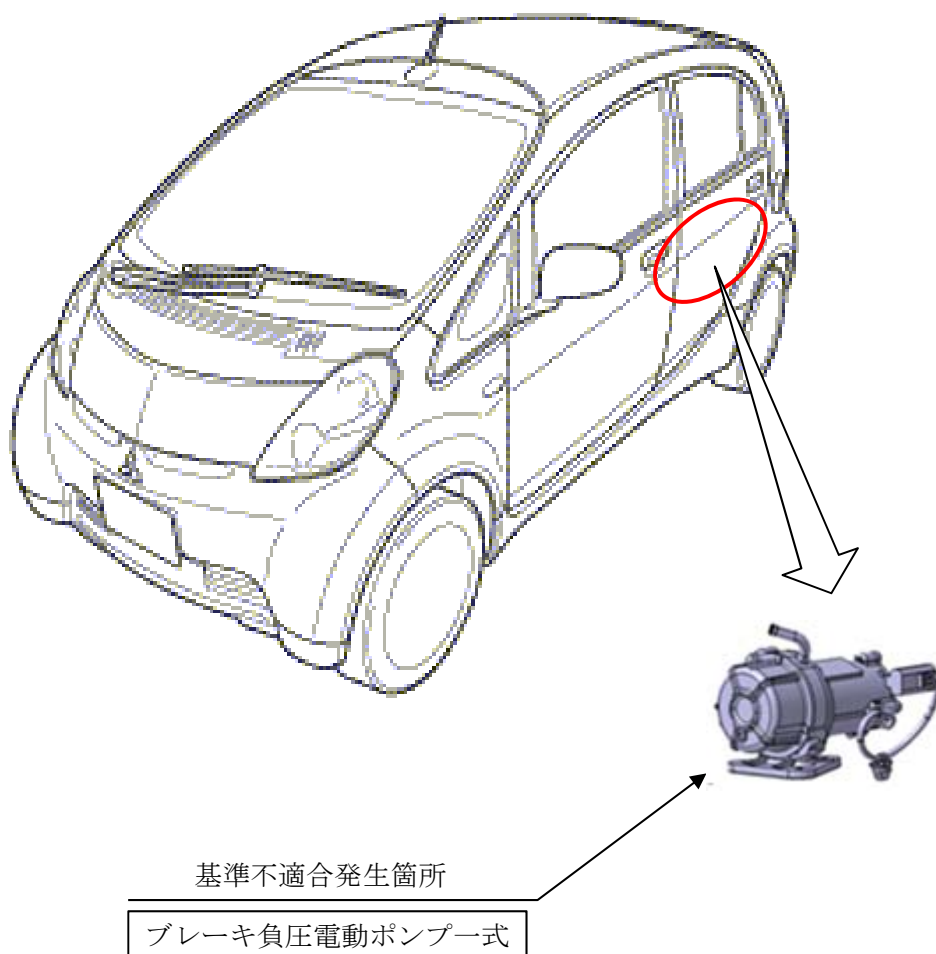
改善の内容

全車両、EV ECU のプログラムを対策品に書き替える。

注：図中の 内は、プログラムを書き替える部品を示す。

識別：アクセルペダルアームの上面に白または黄色ペイントを塗布する。

改善箇所説明図③



ブレーキ倍力装置に負圧を供給するブレーキ負圧電動ポンプの排気穴の位置が不適切なため、凍結防止剤を含んだ泥・砂が排気穴に付着・侵入し、ポンプボデーが腐食することにより、排気穴が閉塞する場合がある。そのため、ブレーキ警告灯が点灯するとともに警告音が鳴り、ブレーキ負圧電動ポンプが停止し、そのままの状態で使用すると制動距離が長くなるおそれがある。

改善の内容

全車両、ブレーキ負圧電動ポンプ一式を対策品に交換する。

注：図中の 内は、交換する部品を示す。

識別：アクセルペダルアームの上面に白または黄色ペイントを塗布する。